

公 表

第 5 0 回技能五輪全国大会「左官」職種 競技課題

次の注意事項及び仕様に従って、課題を制作しなさい。

1. 競技時間

標準時間 1 1 時間 3 0 分

- ・モジュール 1 = 6 時間 3 0 分
- ・モジュール 2 = 3 時間 0 0 分
- ・モジュール 3 = 2 時間 0 0 分

打切時間 1 1 時間 4 0 分

※休息时间 3 0 分間含まれず

2. 作業説明

別紙 1 のとおり

3. 仕 様 (モジュール別、指示事項)

別紙 2 のとおり

4. 注意事項・支給材料及び工具

別紙 3 のとおり

5. 採点項目及び配点

区 分	項 目	採 点 項 目	配 点
施工法		置 引 き	2 2
精 度		寸 法 角 度 水 平 度 垂 直 度 接 合 部 引 き 型	6 0
作業態度		整理整頓 手ぎわ	8
外 観		自由課題 全体の外観	1 0
合		計	1 0 0

(別紙1)

作業説明

1. 総作業時間は11時間30分とする。(休息时间30分は別途とする)
2. 課題の作成はモジュール形式とする。3工程に分割した作業を決められた時間内に行うこと。
3. 使用材料は無駄なく使用すること。
4. 作業台及び作業エリアは常に整理整頓すること。
5. 使用工具、工法は一部を除き、自由選択とする。(モールディングはすべて置引きとし、スケール、差し金等計測用具はJIS規格品とする)
6. 支給された材料の品名、量等を確認する。
7. 持参工具の展開は会場下見の時に行う。(付添人も可)
8. 引き型は図面寸法を採用する。
9. 置引き貼り付け材料は自由とする。ビス止め併用可(有機接着剤は禁止)
10. 貼り付けた、モールディングと壁の間は、すき間なく仕上げること。
11. 明記された寸法は総て審査の対象とする。
12. 作業台は樹脂合板12mm厚を使用する。
13. 置引き等、作業は備え付けの作業台を使用すること。(持ち込み不可)
14. 課題の下地は平ボードとする。寸法は縦、横とも1,820mmを使用する。
15. 作業エリアの床養生は主催者側で行う。
16. モールディングを切断するとき、指定寸法にあわせてそのまま、両側を切断できるように作成した箱定規(留め型)は使用不可とする。片方を切断した後、スケール、差し金等で寸法を測り、箱定規を移動させてから反対側を切断すること。

(別紙2)

仕 様 (モジュール別、作業内容と説明)

モジュール1

施 工 日 : 1 日 目 「 1 0 月 2 7 日 (土) 」

施工時間 : 6 時間 3 0 分 (8 : 5 0 ~ 1 2 : 0 0) (1 3 : 0 0 ~ 1 6 : 4 0)
(午前 ・ 午後、休息時間を 1 0 分間取ること)

作業内容 : 墨出し、引型の作成及び置引き作業。モールドング A、B、C、取付け。

作業説明 : 中心墨、陸墨は各自で出すこと。(陸墨は中心墨の位置を基準とする)

- すべてのモールドングは焼き石膏、置き引き仕上げとする。
吉野石膏・焼き石膏タイガー印=桜印 (同製品)
- 置引きの下地に使用する押出法ポリスチレンフォーム (スタイロフォーム、1,820×450×20) を支給。
必要であれば使用する。(持込み不可)
- モールドング、A・B・Cの取付け墨出しは12時まで完了すること。
(貼り付け墨交差部は10~30mm長く残すこと。)
- モールドングDの取付け墨出しについては16時30分までに完了すること。
- モールドングB、Dの引き型は現地で原寸図を描き(方眼紙、支給)、鉄板加工を済ませ、持参した木型に取付け完成させること。
- モールドングA・B・Cを置引きで仕上げ、所要時間内に貼り付け完成させること。
- モールドングDについては施工時間内に置引きをすませること。
- 引き型は作業終了時間後、すべて提出すること。
- 午前・午後、休息時間を10分間ずつ取ること。
- 墨出し作業において型板、型紙等の使用を禁止する。
(芯墨、陸墨を基に差金、スケール、スチール定規等を用い、実測すること)

モジュール2

施工日：2日目「10月28日（日）」

施工時間：3時間00分（午前8：50～12：00）
（休息時間を10分間取ること）

作業内容：モールディングD、加工、貼り付け。

作業説明：前日作成したモールディングDを指定寸法に切断、貼り付け完成させること。

モジュール3

施工日：2日目「10月28日（日）」

施工時間：2時間00分（午後13：00～15：00）

作業内容：モールディングDの内壁の仕上げ。

作業説明：薄塗り自然素材及び指定した材料を用い鏝塗りとする。

- ・できあがった製品の持ち込みは禁止する。

- ①Bドライ、粗面仕上げとする。（着色、工法自由）

- ②薄塗り自然素材で仕上げる。（着色、工法自由）

- ③薄塗り自然素材で仕上げる。（着色、工法自由）

- ・塗り材（自然素材）を練るとき、攪拌機は使用せず、レンガ鏝等を用いて手練りとする。

(別紙3)

注意事項

1. 競技中、工具の貸し借りは禁止する。
2. 支給された材料に異常がある場合は申し出ること。
3. 電動工具（丸ノコ）の使用を禁止する。
4. 安全規則を守ること。ケガをした者は競技委員で協議のうえ対応を決定する。
5. 休憩時間及び作業終了後は速やかに参加票を提出すること。

支給材料・工具

番号	品名	規格	数量	備考
1	焼き石膏	吉野石膏A型25kg入り	2袋	タイガー印と桜印同製品
2	アルミ製定規	1,800mm×50mm×35mm	2本	持ち込み不可（置き引き用）
3	脚立	小（アルミ製）	1個	
4	取り舟	小	1個	残土用
5	バケツ	18リットル	2個	プラスチック製
6	作業台	1,820mm×910mm	1台	置き引用、引き台
7	置き台	1,800mm×900mm	1台	置き引き保管用
8	ミニ万力		1台	鉄板加工用
9	鉄板	350mm×250mm×0.4mm	1枚	引型製作用
10	走り定規	1,800mm×35mm×12mm	1本	
11	押出法ポリスチレンフォーム	1,800mm×450mm×20mm	1枚	（スタイロフォーム） 置引き中込め用
12	照明（投光器）	自立用	1脚	
13	既調合プラスター	軽量骨材入り 下塗り用	0.3袋	（Bドライ）

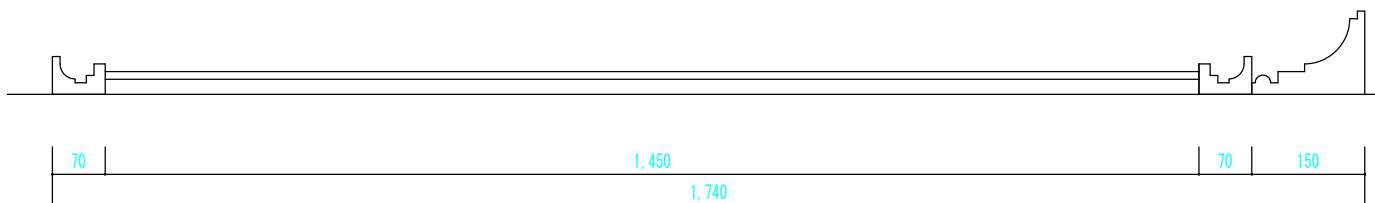
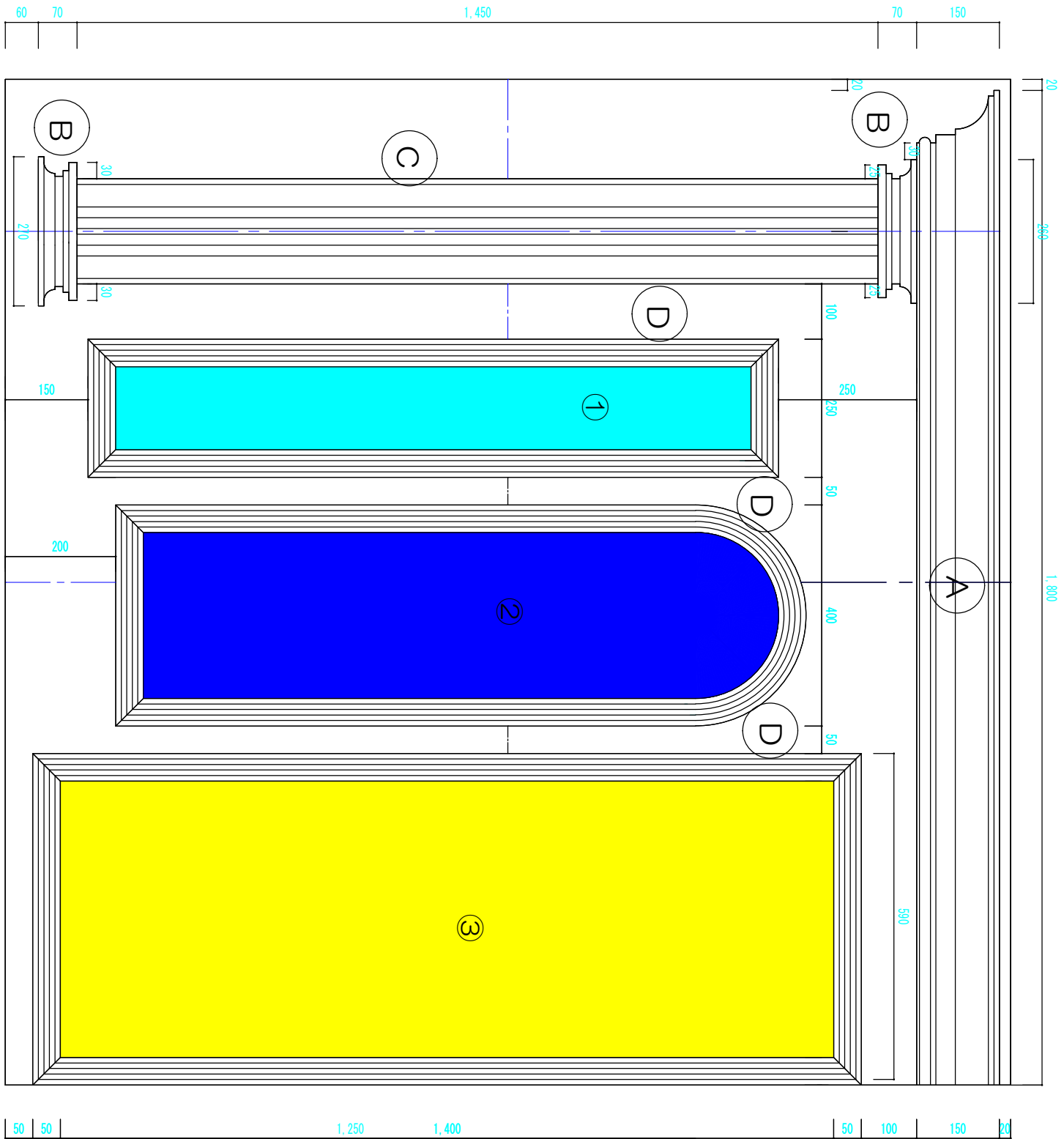
公 表

第50回技能五輪全国大会「左官」職種 競技課題図

1. 別添 第50回技能五輪全国大会「左官」職種競技課題のとおり。

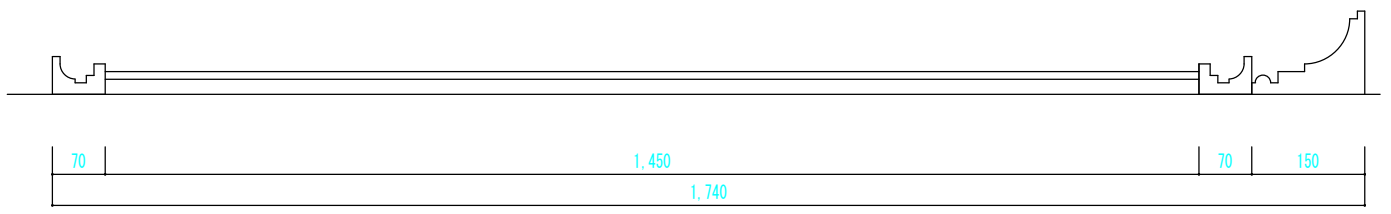
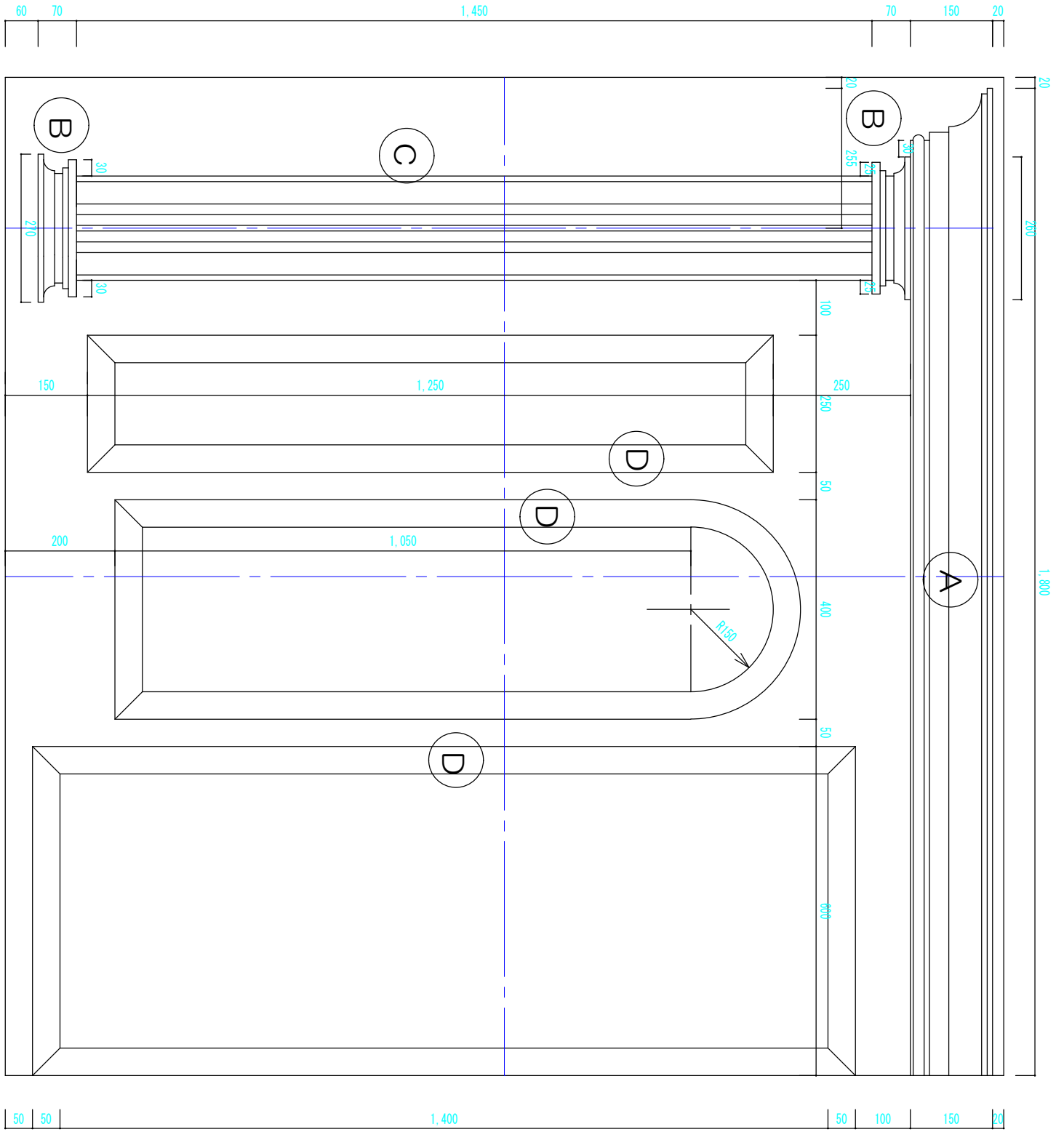
- 1-1 正面図及び側面図
- 1-2 モジュール1
- 1-3 モジュール2
- 1-4 モジュール3
- 1-5 引き型断面図

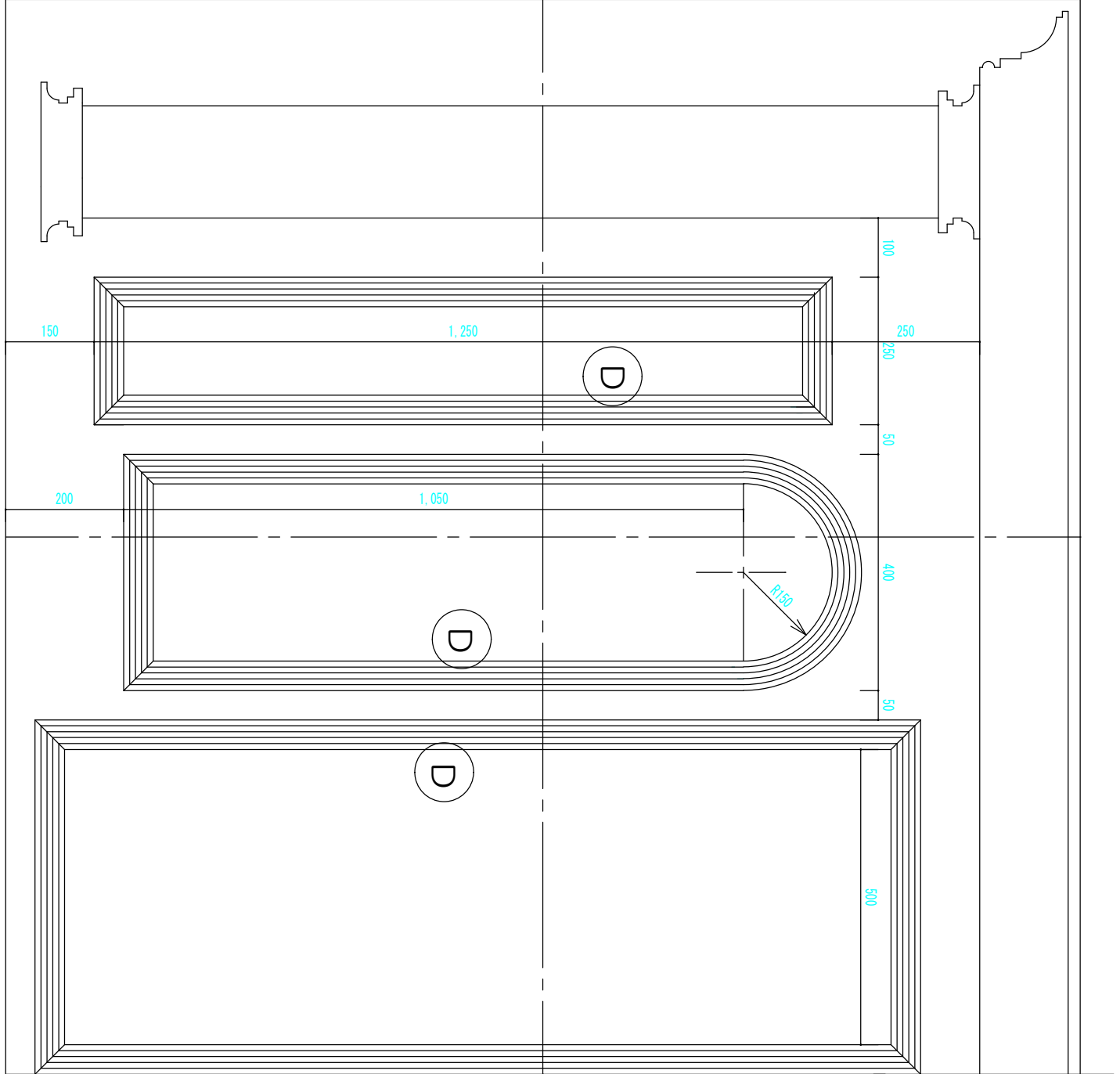
左宮職種 1-1



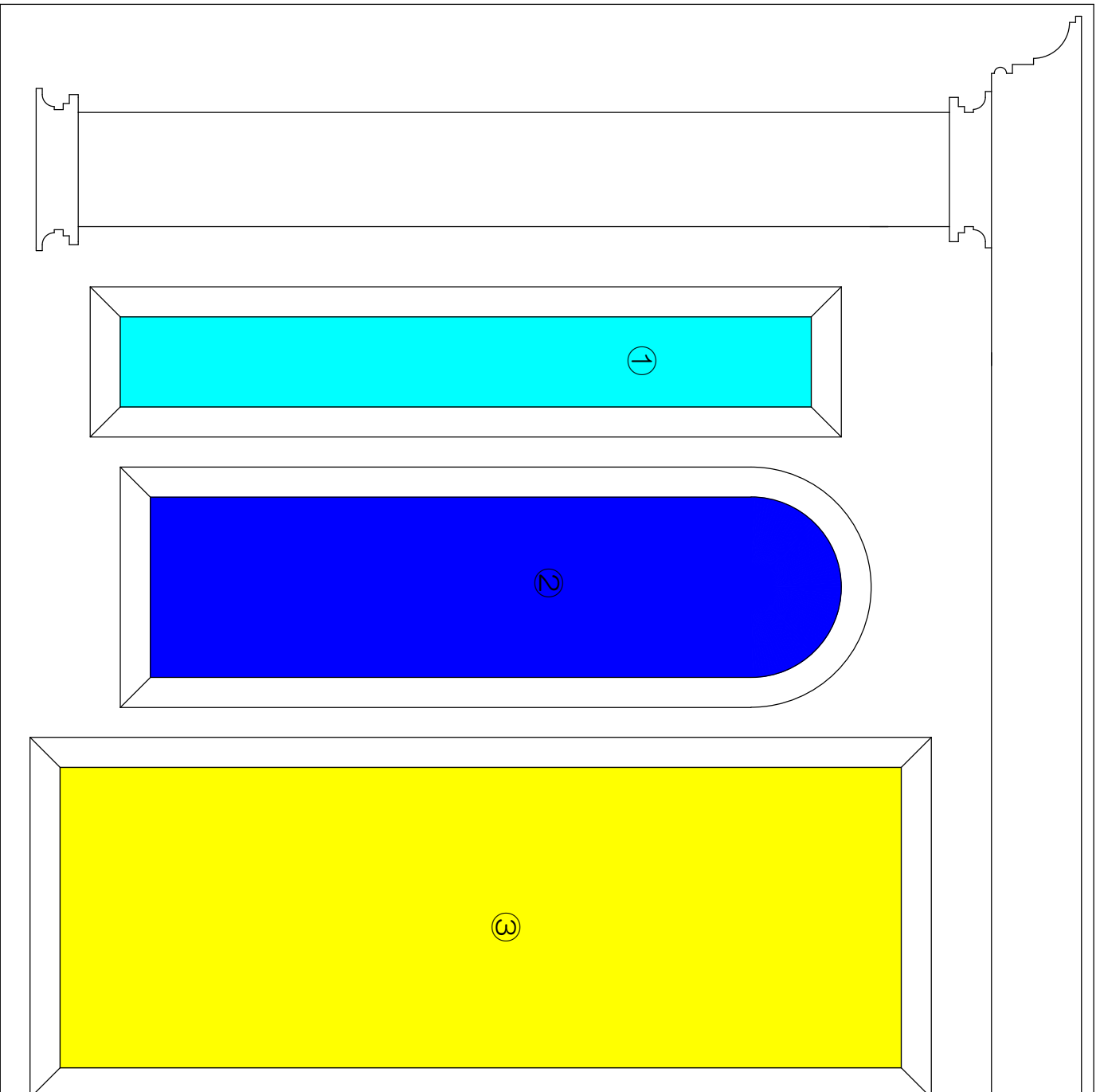
モジュール1 正面図 S = 1 / 10

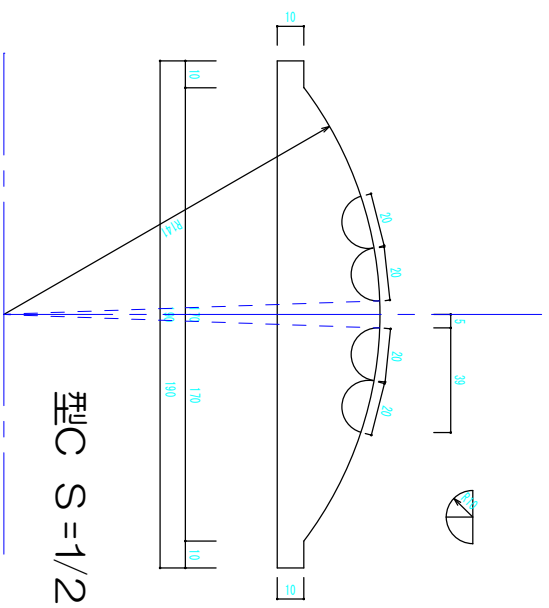
左宮職種1-2



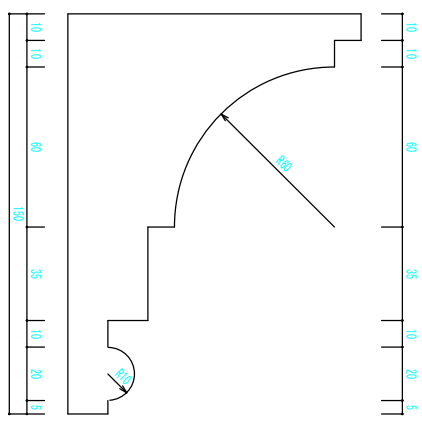
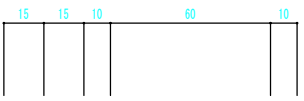


50	50	1.250	1.400	50	100	150	20
----	----	-------	-------	----	-----	-----	----

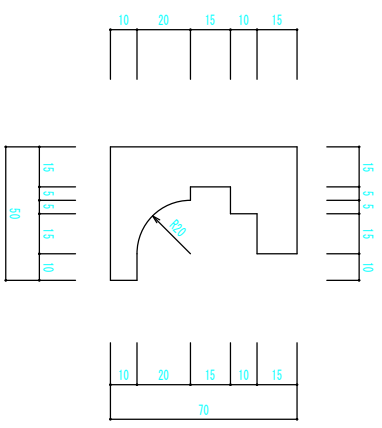
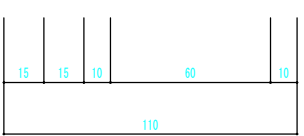




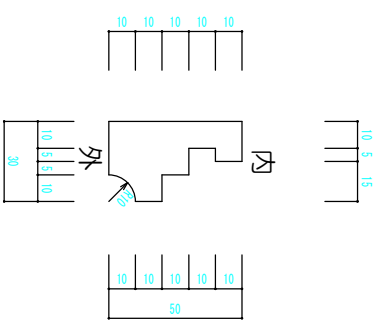
型C S=1/2



型A S=1/2



型B S=1/2



型D S=1/2

公 表

第50回技能五輪全国大会「左官」職種 持参工具等一覧表

番号	品名	規格	数量	備考
1	使用工具	工具箱に収まる範囲	一式	制限なし
2	工具箱	大きさは1 m ³ 前後	1 個	
3	モールディング貼付け材		適量	有機接着剤不可
4	薄塗り材	自然素材	適量	着色は自由
5	Bドライ着色材		適量	
6	延長コード	10 m	1	

※ 工具箱の大きさは1 m³ 前後とする。

第50回技能五輪全国大会選手からの質問と回答について

競技主査 高野雅一

1. 作業台に板を足して、置き引き作業を行ってもよいか。

回答（作業説明1 4. 置き引き等、作業は備え付けの作業台を使用すること。（持ち込み不可）と明記してあります。作業台に板を足しての作業は不可です。）

2. 墨出しに使用する定規は持参してもよいか。

回答（支給材料・工具 2. アルミ製定規の項目に明記してあるように、置き引きに使用するアルミ定規は支給するので持ち込みは不可ですが、墨出しに使用する定規は持ち込み可とします。）

3. 持参する工具箱の要領が若干1 m³を超えてもよいか。

回答（第50回技能五輪全国大会「左官」職種 持参工具一覧表のページに工具箱の大きさは1 m³前後と明記してありますので、著しく大きくなければOKです。）

4. 置引きの残土を入れる取舟(小)を使わずに、持参した容器を使用してよいか。

回答（よろしいです。持参して使用して下さい。）

5. モールディング加工及び切断補修等に使用するため作成した小型の作業板等を持参してよいか。

回答（作業説明1 4. 置き引き等、作業は備え付けの作業台を使用すること。と明記してありますので、持ち込みは不可です。定規等を持参して、競技場の作業台に取付けるなど、現地で作成して下さい。）

なお、鉄板加工用に作成した作業板は持参してもよろしいです。

6. 持参した工具箱に、たな等を取付けて使用してよいか。

回答（よろしいです。）

7. 引き型作成用に支給される鉄板の材質は何ですか。

回答（アルミニウムと亜鉛合金メッキ鋼板にポリエステル樹脂系塗料を焼き付けした塗装合板です。）

8. 走り及び刃定規を持ち込んでもよいか。

回答（置引きに使用する1800mm×500mm×350mmのアルミ製定規は支給します。それ以外で使用する定規は持ち込みOKです。）

9. アンビル（鉄板加工用、鉄製の台）は持ち込んでよいか。

回答（よろしいです。）

10. モジュール1の墨出し作業で、モールディングAとBの取付け墨を出すとき、出留めの部分は型どおりに墨を出すのか。

回答（従来どおり、型の中と長さを出した後、上下に斜線を引いて下さい。中間は出さなくともよいです。）

11. 置引き制作時、引き型と同じ寸法で作成した、かいこみ定規を前後に取付けて作業をしてよいか。〈置引きを取り外すと留めの部分ができあがっている。〉

回答（モジュール1. 作業説明の中で、すべてのモールディングは焼石膏置引き仕上げとする。と明記してあります。留め部分は作成したモールディングを切断して接合、補修して仕上げして下さい。型どおりに作成した定規類をかいこんで仕上げの面を作ることは禁止です。）

12. 競技課題の石膏ボード板に打ち込んだ千枚通しの穴はうめるのか。

回答（石膏ボード板は仕上がり面です。うめて下さい。）

13. 置き引きに使用するアルミ定規（支給）に穴をあけてもよいか。

回答（穴はあけずに両端を止めて使用して下さい。）

14. 課題別紙3の注意事項の支給材料と工具の2のアルミ定規の寸法が違うのでは。

回答（正しい数字は、1800 mm×50 mm×35 mmです。また、以下の項目についても訂正がありましたのでご確認願います。※中央協会 HP にて公表済み

- ・ 7の置き台 1800 mm×900 mm
- ・ 10の走り定木 1800 mm×35 mm×12 mm
- ・ 13の既調合プラスターの下り用×→下塗り用)

「注意事項」

尚、本回答以降の質問については、競技開始前の26日の左官職種開会式の中の主査からの説明で回答いたします。原則、事前に回答できませんのでご了承ください。

確認事項

- ① 競技課題の陸墨の位置（900mm）が石膏ボードの継ぎ目となるため、下から910mm上がりの個所に陸墨を出して下さい。

- ② モジュール1の作業が指定時間内に終了しなかったときは、モジュール2の作業時間内で行ってください。
モジュール2の場合も同じ事です。

- ③ 訓練用石膏材料については、以下のとおりです。
材料名 : タイガー印焼石膏A級（陶磁器型材用・彫刻美術工芸用石膏）
※桜印焼石膏A級と中味は同様です。
包装 : 25kg
価格 : 1袋3,675円（税込）+ 送料別途
注・・・着払いのみの対応となります。
材料発送元（材料メーカー） : 吉野石膏㈱
請求の送付先 : ㈱タカボシ

注文先・問い合わせ先 : 一般社団法人 日本左官業組合連合会
〒162-0841 東京都新宿区払方町 25-3
TEL03-3269-0560 FAX03-3269-3219